

白 い ま ど

October 2017年 10月1日発行 No.448

10



特集

がんに克つ! ⑨

乳がん P-1

乳房を知り、乳がんを知り、
乳がんを克つ

- インフォメーション P-4
- 診療科・センター紹介
病理診断科 P-5
- 診療を支えるスペシャリスト
体表領域
超音波検査士 P-6

病院理念 私たちは利用して下さる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

がんに克つ!
9

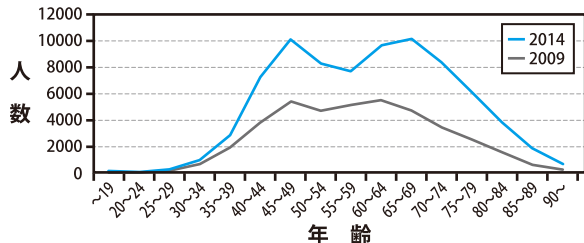
乳がん

乳房を知り、乳がんを知り、
乳がんを克つ

日本人の2人に1人が一生のうちに一度はなるといわれている『がん』。シリーズ「がんを克つ!」では、日本人がかかりやすいがんを中心に、その特徴・最新治療・予防法などを紹介します。

日本では乳がんが増え続け、生涯でかかる人は11人に1人といわれています。40代後半～50代前半の母、妻、社会で活躍する世代に多く、社会問題です。図1 薬物療法の進歩で治癒率は向上しましたが、お亡くなりになる方が減少するまでには至っていません。

図1 乳がん罹患の年齢分布と経年変化
(日本乳癌学会・全国乳がん患者登録調査報告より)



予防が一番ですが、残念ながら確実な予防法はありません。「乳癌診療ガイドライン」※1によると「個人レベルで実践に値する要因は、アルコール、肥満、身体活動であり、アルコール摂取を控え、閉経後の肥満を避けるために体

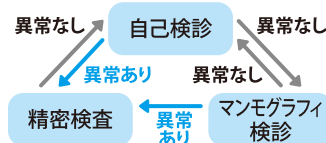
重を管理し、身体活動量を増やすことが重要」です。

※1:2015年版の最新の「科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 疫学・診断編」(日本乳癌学会編)

【早期発見の機会を逃さないようにしましょう】

まずは自己検診!症状※2があればすぐ受診!なければ乳がん検診、40歳になったら2年に1回のマンモグラフィ検診を受けましょう。検診で異常がなければ、自己検診と定期的な検診を継続しましょう。図2 要精検のときは必ず精密検査を受けてください(要精検となる人は5~10%程度)。必ずしも乳がんではありません(精密検査を受けて乳がんと診断される人は3~4%程度)。

図2 検診サイクル

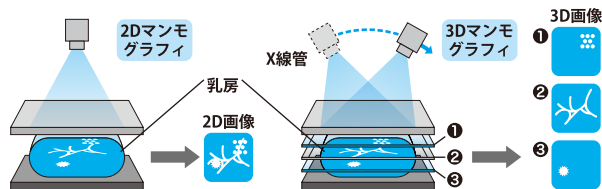


※2:乳房や腋窩のしこり、乳頭分泌物、乳頭のひきつれ・陥没など

【乳がんが診断されたら、必ず適切な治療(標準治療)を受け根治を目指しましょう】

2cm以下でリンパ節転移のない乳がんは、95%以上根治が可能です。2cmは1円玉の直径で自分でもわかる大きさです。乳腺科外来では、初診時に視触診・乳房超音波検査・マンモグラフィを行います。図3 良悪性の鑑別が必要なときは、針生検を行います。乳がんが診断されたら、MRIやCT検査を行い、治療方法を選択します。

図3 当院のマンモグラフィは最新鋭の3D機能を搭載!



治療は、手術・放射線などの局所療法と転移・再発を予防する薬物療法(全身療法)を組みあわせて。部分切除のときは乳房へ放射線を照射し、乳房切除(全摘)と同じ効果を確保します。乳房切除のときは乳房再建を追加して行う方法もあります。転移・再発予防の薬物療法にはホルモン療法、化学療法、抗体療法などがあり、がんの性格(生物学的特性)に従い効果的な薬剤を選択します。挙児希望※3のある若い女性が化学療法(抗がん剤治療)を受けるときには、抗がん剤治療に伴う不妊対策(妊孕性温存)の専門チームがサポートします。

※3:妊娠・出産を希望する

文責:乳腺科部長 吉田 雅行

10月は、ピンクリボン*月間

当院では、乳がんの正しい知識と検診の大切さを伝えるため、正面玄関の照明色をピンクにライトアップします。

▶期間 …………… 2017年10月1日(日)~31日(火)

▶点灯時間 …… 17:00~21:00

*…乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるシンボル

さらに詳しい情報などを、YouTubeの「聖隷浜松病院チャンネル「白いまど」」で配信しています。ぜひ、ご覧ください。



YouTube 聖隷浜松 検索

インフォメーション

イベント情報

参加費無料
申込不要
どなたでもご参加
いただけます

《第6回》
脳卒中市民公開セミナー

●内容:ミニ劇場、講演、栄養士・薬剤師による体験ブース

▶日時 …………… 2017年11月18日(土)
13:30~16:30(開場13:00)

▶場所 …………… 医局管理棟 大会議室(医局管理棟B1階)

▶問い合わせ …… 地域医療連絡室(JUNC)

TEL 053-474-8801(月~金9:00~17:00)

聖隷浜松病院

LINE@

10月より、病院からの
お知らせやイベント
情報、限定メッセージ
などをLINEでお届けします。

「友だち追加」
してね!

「友だち追加」の方法は2通り

●QRコード



●ID検索(LINE アプリ内の
「友だち追加」から)

@seirei_hp

※詳しくは、ポスター(院内掲示)または病院ホームページをご覧ください。

新任
医師紹介



(小児科) 新生児科
みやけ ふみひと
三宅 史人
大阪大学
(2009年卒)※9月着任



脳神経外科
やまぞえ ともしひろ
山添 知宏
三重大学
(2004年卒)



リハビリテーション科
すぎ たかふみ
杉 貴文
近畿大学
(2014年卒)

病理診断科



「病理診断」は最終診断の1つとして 大きな役割を果たしています

病院で医師から「病理診断に出してみますね」という言葉を聞いたことはありますか？がんなどの腫瘍が見つかった場合、顕微鏡等を使って詳しく診断する必要があります。これが「病理診断」です。病理診断には胃カメラや手術等で採取された組織を診断する「組織診断」、子宮がん検診で子宮の入口から集めた細胞や喀痰の中の細胞、乳腺のしこりを針で刺して採取した細胞などを診断する「細胞診」、手術中にリンパ節転移の有無や病変がとりきれたかどうかの確認を行う「術中迅速診断」等があります。当院では日本病理学会で認定された複数の病理専門医により適切な病理診断を行っており、病理専門医が内科や外科などの臨床医と検討会を重ねることで、適切な治療を行えるよう努めています。

文責：病理診断科 部長 大月 寛郎(写真後列右端)

診療を支える
スペシャリスト

体表領域 超音波検査士

エコー 乳線の超音波検査をしています



超音波(エコー)検査は、人の耳には聞こえないほどの高い音「超音波」を体内に送り込み、臓器に当たり反射した音を機械で画像化して大きさや状態を調べる検査です。人体に無害な上簡便な検査ですので、腹部・心臓・血管

など体のさまざまな部位を検査する事が可能ですが、その中でも乳腺超音波検査は乳がんの発見などにとっても重要です。当院では「体表領域超音波検査士」という専門資格を取得した女性の臨床検査技師が、専用の超音波検査装置を用いて20分程度で検査を実施します。また検査は室温などに配慮した静かな個室で実施しており、患者さんに安心して検査を受けていただけるような環境作りを心がけています。

文責：臨床検査部 谷高 由利子(写真前列左)、技師長 直田 健太郎



聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ 紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る選定療養費として5,400円(税込)を別途ご負担いただいています。

また予約時には、原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。

やむを得ず患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ 地域医療連絡室(JUNC) ☎053-474-8801

(月～金曜 9:00～17:00・土曜 9:00～12:00/祝祭日を除く)

再診の方へ 予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡をお願いいたします。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ 外来受付センター ☎053-474-0100 (月～金曜9:00～16:45)

面会の方へ

面会時間…(月～土曜) 14:00～20:00、(日曜・祝日) 10:00～20:00

- 小児科病棟の面会者はC棟1階で手続きをお願いいたします。
- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会をご遠慮いただいています。
発熱/咳・痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

医師との面談時間について(ご協力のお願い)

5月1日より原則、平日8:30～17:00 となりました。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合(外来診療や手術の延長等)により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。



ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院



日本医療機能評価機構



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222

発行責任者 院長 鳥居 裕一